

日刊産業新聞ホームページ
<http://www.japanmetal.com/>
 E-mail hitetsu@sangyo.co.jp

携帯サイト

 QRコード
<http://www.japanmetal.com/m/>

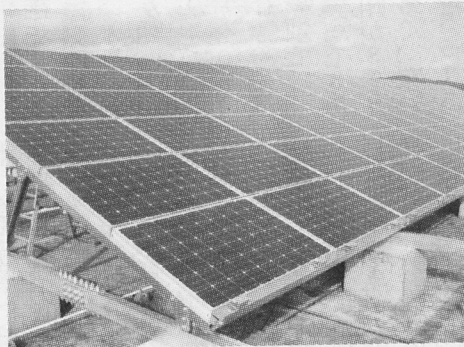
支社局網

中部支社	名古屋市中区上前津1-4-12	TEL 052(331)3371
中国支社	広島市南区大須賀町14-12	TEL 082(263)5523
北海道支局	札幌市北区北七条西4-8-3	TEL 011(756)1321
福岡支局	福岡市博多区博多駅前4-14-1	TEL 092(472)3887
東北支局	仙台市青葉区壱番町1-6-19	TEL 022(223)9032
北信越支局	新潟市中央区上大川前通7番町1235	TEL 025(229)4085

廉価版化合物系に脚光

カドテル系 脱原発が後押し

国内でメガソーラー（大規模太陽光発電所）計画が浮上し、化合物系太陽電池に注目が集まっている。低コストのカドミウム—テルル系太陽電池が有力視され始め、これまで敬遠されていた国内でも、大手電機メーカーが参入する動きが出てきた。市場関係者は「震災で風向きが明らかに変わってきた（化合物—カー）」と話す。



注目が集まる太陽光発電

太陽電池

震災と原発事故を機に「脱原発」世論が高まるにつれ、官民双方で再生可能な自然エネルギー普及への取り組みが加速している。ソフトバンクの孫正義社長がこのほど発表した太陽光事業に全国の自治体が呼応。休耕田などの遊休地を利用して、2万キロワット規模のメガソーラーを各地に建設する計画を明かした。

太陽電池の現在の主流は、太陽光エネルギーを電力に変換するモ

ジュールに多結晶シリコンを用いたもの。それに次ぐ化合物系はカドテル（カドミウム—テルル）系とCIS（銅—インジウム—セレン）系が知られ、カドテル系は製造コスト、CIS系は変換効率の点で強みを持つ。

カドテル系は化合物成分のテルルの国際価

格が1年で約10倍に騰貴しているが、製造方法が真空蒸着法ではない印刷法が可能なため、量産が容易。電機メーカー関係者によると「製造コストはシリコン系の3分の1」ともいわれている。

海外では欧米市場で普及が進み、米国大手・ファーストソーラー社はカドテル系の拡販で2009年、モジュール生産量で世界トップに上り詰めた。日本国内では過去のカドミウム公害問題もあって普及していないが、こう

例が設けられるかが普及のポイントになるが、今回の官民メガソーラー事業はそれを後押ししそうだ。

化合物系太陽電池の



株式会社フジクラ www.fujikura.co.jp
 〒135-8512 東京都東区木場1-5-1

もう一つのCIS系は、昭和シェル石油子会社のソーラーフロンティアが宮崎県に大規模工場を今春竣工し、生産能力を10倍の1ギワット（100万キロワット）に引き上げた。日本発の次世代電池として期待されるが、世界的な実績と廉価性ではカドテル系に分がある。

太陽電池製品の輸入圧力も増している。特に中国、韓国、台湾勢の太陽電池メーカーの台頭は著しく、昨年はファーストソーラーに代わり、中国のサンテックパワーが世界一に輝いた。これまでエネルギー変換効率など性能向上に執着し、世界シェアを低下させてきた日本の太陽電池製品だが、電力事情から流れが変わる可能性が出てきた。

経済産業省は、民間企業の設備導入に2010年度補正予算で確保した補助金を交付する「レアアース等設備導入補助金」の2次公募で、チタンに関する投資案件を複数採択する予定だ。昨年末から今年1月にかけて実施した1回目の公募でも、チタン関連の投資案件に総額85億円の補助金を交付した。民間企業の投資を資金面から援助し、日本のチタ

ン産業の国際競争力強化を目指す。政府は昨年7月に、中国がレアアース輸出枠を大幅に削減したことをや、9月下旬以降に中国から日本へのレアアース輸出が停滞した

ことを受け、レアアース総合対策を策定。2010年度補正予算でも、レアアース安定調達などの対策費として1000億円を盛り込んだ。中国に代わる調達先を探すため、海外

援については、経済産業省は案件の公募（第1次公募）を昨年12月から開始。160件、331億円分を採択した。レアアースの使用量低減や代替に関する案件などに加え、チタン関連でも3件を採択。航空機向けのチタ

原料高騰は深刻化
 西澤会長が記念講演

協会チタン
 日本チタン協会は30日、東京・神田の学士会館で記念講演会を実施し、西澤庄藏会長

（大阪チタニウムテクノロジー社長）が「チタン原料の調達に「チタン」の題で講演し

た。西澤氏は、チタン原料の高騰が深刻化していること、チタン原料の調達に「チタン」の題で講演した。西澤氏は、チタン原料の高騰が深刻化していること、チタン原料の調達に「チタン」の題で講演した。

補
 2次公募
 国際競争力を強化

援については、経済産業省は案件の公募（第1次公募）を昨年12月から開始。160件、331億円分を採択した。レアアースの使用量低減や代替に関する案件などに加え、チタン関連でも3件を採択。航空機向けのチタ